

朝夷奈切通からはじまる 歴史資料のオープンデータ化プロジェクト

横浜市立大学・金沢研究会×金沢区×鎌倉市

朝夷奈切通とは？

鎌倉幕府が鎌倉と六浦（現横浜市金沢区）を結ぶ重要交通路として、山稜部を開削して建設した道路
 当時は、港であった六浦から鎌倉に塩を運ぶ道として栄えていたため、「塩の道」とも呼ばれていた。
 国指定史跡に認定されている。



課題分析

①情報の分断
 朝夷奈切通についての資料や情報、
 管理が金沢区側と鎌倉市側で分断



②歴史資料が点在



歴史資料のオープンデータ化で「住み続けたいまち」へ！

歴史資料のオープンデータ化と活用を進めることでまちの歴史が住民の暮らしに身近になる
 豊富な歴史資産を活かして住民が愛着をもてる住み続けたいまちを目指す

オープンデータ化の進め方（今年度の活動を例に）



冬



夏

事前調査の様子

地域学習のためのWEBサイト

STEP 3
データベース
サイト
活用



12月に実施した
みちあるきイベントでも
WEBサイトを利用。
手元で情報を見つつ、
歴史資産を巡った。



STEP 2
データベース
サイトの
作成

金澤写真アルバムアップデート

歴史データに簡単に辿り着ける環境を実現するため。



金沢区によるオープンデータ
事業の1つ。区が持つ写真
や市民が提供した写真を
オープンデータとして提供
するサイト。

STEP 1
データフォーマット
を作成

CSV形式でデータを収集

使いやすくするためにデータを統一。

- ①写真②解説③その展覧
- ④遺産文化財の所在地
- ⑤時代



今後の展望(来年度からの活動)

①みちあるきアプリの開発

WEBサイトの情報をもとに自分のルートを自分でカスタマイズできるみちあるきアプリ。

- ・ログ機能
 - ・自分で作った道や感想を共有できる機能
- を入れ、もっと自分のまちを知りたい、出歩きたい!!
と思うきっかけをつくる。



②WEBサイトの改良

歴史資料のオープンデータを保存、公開する地域学習のためのWEBサイト。みちあるきイベントの際に行ったワークショップで出た意見を反映し、改良を進めていく。

- ・地域の小学生向け
- ・総合の時間、社会の時間など調べ学習にも活用



大学

×

金沢区

×

鎌倉市

歴史オープンデータ
+
金澤写真アルバム
+
WEBサイト・アプリ

歴史的魅力による愛着の醸成

教育の現場での活用



ウォーキングによる健康づくり

歴史的関係他都市との連携



住み続けたいまち、金沢区



横浜市金沢区・鎌倉市より

金沢区はこれまでも行ってきた情報、資料、場の提供に加え、金澤写真アルバムをはじめとしたオープンデータのプラットフォームの提供を続け、これを利用していただくような形で協働できればと考えます。鎌倉市も引き続き、自治体の壁を越えたオープンデータの整備に繋がるよう、審査対象チームへの情報活用等に協力していきます。

